

第20回極真空手オープントーナメント 宮崎県空手道選手権大会

【組手試合種目・選手防具着用義務】

No.	クラス		本戦	延長	体重差	ヘッドガード	マウスピース	拳サポ	スネ	ヒザ	胴	男子ファウルカップ	女子アンダーガード	女子カップシールド		
1	幼年の部	軽量級	60秒	60秒	1kg以上	○	任意	○	○	任意	X	○	任意	任意		
2		重量級													20kg以上	
3	小学男子の部	1年生	軽量級	60秒	60秒	2kg以上	○	任意	○	○	任意	X	○	任意	任意	
4			重量級													22kg以上
5		2年生	軽量級													25kg未満
6			重量級													25kg以上
7		3年生	軽量級													28kg未満
8			重量級													28kg以上
9		4年生	軽量級													32kg未満
10			重量級													32kg以上
11		5年生	軽量級													36kg未満
12			重量級													36kg以上
13		6年生	軽量級													40kg未満
14			重量級													40kg以上
15~20	小学1年女子の部～ 小学6年女子の部	各学年無差別		60秒	60秒	○	任意	○	○	任意	X	X	任意	任意		
21~26	小学1年チャレンジクラス～ 小学6年チャレンジクラス	各学年男女混合無差別		60秒	60秒	○	任意	○	○	任意	○	○	任意	任意		
27	中学1年生男子	軽量級	45kg未満	90秒	90秒	3kg以上	○	任意	○	○	○	X	○	X	X	
28	中学1年生男子	重量級	45kg以上	90秒	90秒	3kg以上	○	任意	○	○	○	X	○	X	X	
29	中学2・3年生男子	軽量級	55kg未満	90秒	90秒	3kg以上	○	任意	○	○	○	X	○	X	X	
30	中学2・3年生男子	重量級	55kg以上	90秒	90秒	3kg以上	○	任意	○	○	○	X	○	X	X	
31	中学女子の部	軽量級	45kg未満	90秒	90秒	3kg以上	○	任意	○	○	○	X	X	○	○	
32		重量級	45kg以上													
33	高校生男子の部	軽量級	60kg未満	90秒	90秒	5kg以上	○	○	○	○	X	○	X	X		
34		重量級	60kg以上													
35	壮年の部	40才以上・無差別		90秒	90秒	5kg以上	○	○	○	○	X	○	X	X		
36	一般女子の部 (高校生以上)	軽量級	50kg未満	2分	2分	5kg以上	○	○	○	○	X	X	○	○		
37		無差別														
38	一般男子の部	軽量級	70kg未満	3分/2分/2分	5kg以上	X	任意	X	X	X	X	○	X	X		
39		無差別													10kg以上	

※オープンフィンガーグローブは高校生以上が使用可で、中学生以下は、布製のサポーターを使用する
 ※高校生、一般女子、壮年部は、面金なしのヘッドガードを使用するので、マウスピースが着用義務となっております。

【チャレンジクラスの出場規定】

学年	白	橙	青	黄	緑	茶以上	備考
1年生	○	○	X	X	X	X	・小学生の男女混合で1学年ずつ行い、1・2年生では白・橙帯のみ、 3・4年生では青帯以下、5・6年生では黄帯以下が出場できます。 ・過去に出場した組手試合で優勝経験のある選手は男女とも出場できません。 ・試合中は胴当てを着用します。胴当ては主催者が用意します。
2年生	○	○	X	X	X	X	
3年生	○	○	○	X	X	X	
4年生	○	○	○	X	X	X	
5年生	○	○	○	○	X	X	
6年生	○	○	○	○	X	X	

【型試合部門・指定型】

No.	クラス	準決勝まで	決勝戦・3位決定戦		
40	幼年の部 (男女混合)	太極1	足技太極1		
41	小学の部 (男女混合)	1・2年	初級 (橙帯以下)	太極2	足技太極2
42			上級(帯制限なし)	足技太極3	平安1
43		3・4年	初級 (青帯以下)	太極3	足技太極3
44			上級(帯制限なし)	平安2	平安3
45	5・6年	初級 (黄帯以下)	足技太極3	平安1	
46		上級(帯制限なし)	平安4	平安5	
47	中学生の部 (男女混合)	突き型の型	撃砕小		
48	一般の部 (男女混合)	初級 (黄帯以下、中学生・壮年も含む)	平安1	平安2	
49		上級(帯制限なし)	撃砕小	征遠鎮	

※ 型試合はトーナメント形式、5人の審判による旗判定にて行います。